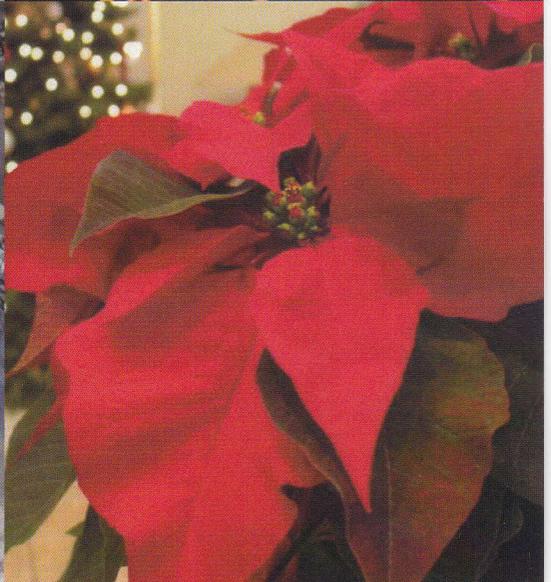
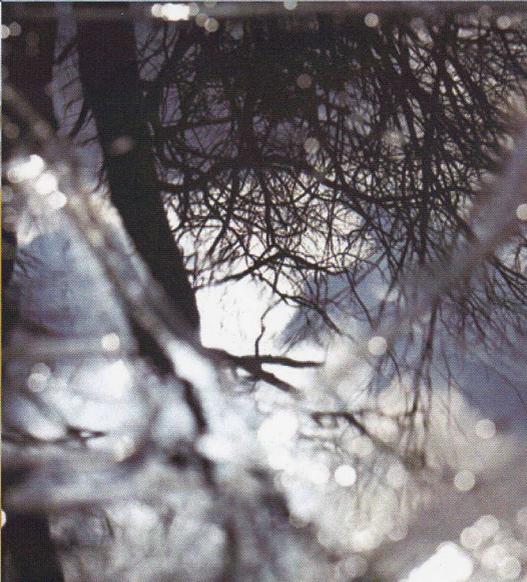
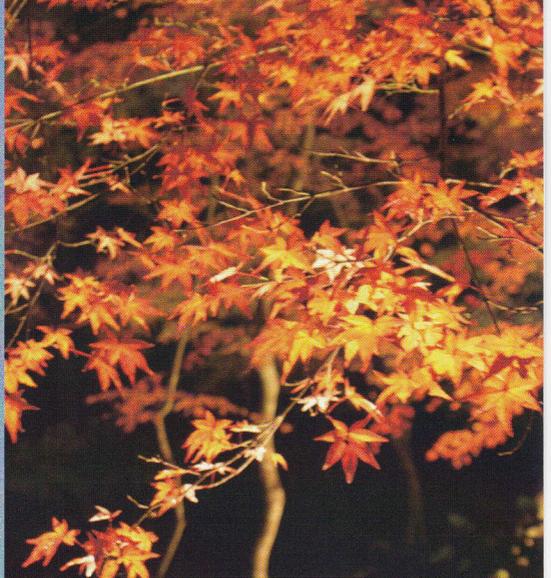




# 湖東 だより 第9号



心臓血管センター  
湖東記念病院

# ご挨拶

今年もいよいよ押し迫り、さぞお忙しい事と存じますが、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

最新のエビデンスと確かな技術ならびに体制に基づいた高度医療を提供できることが我々の使命ではありますが、これらは当然のことであり、永遠の義務でもあります。これからは、上記に加え、患者さんのためのPCIを極めるべく、FFR(心筋血流量予備比のこと、プレッシャーワイヤーという専用のカテーテルで容易に測定出来る)を積極的に用いたPhysiological PCI(解剖学的な狭窄ではなくFFRや負荷心筋血流SPECTにより血行動態的に有意な虚血病変を検出するといった機能的=生理学的所見をベースにしたカテーテル治療)による妥当性の評価を高めたいと考えております。

## ※FFR値の意味

冠動脈のFFR値は、狭窄病変により病変遠位部の血流量が、正常時の何%になっているかを示している。冠動脈内のFFRを測定することでPCIを適用すべき狭窄病変と、そうでない狭窄病変の鑑別ができる。

## ※FFRの計算方法

$FFR = Pd$  (プレッシャーワイヤー先端にある圧センサーで計測できる狭窄病変遠位部の冠内圧)  $\div$   $Pa$  (大動脈圧=ガイディングカテーテルの先端)

FFR値	心筋虚血状態	処置
0.75以下	例外なく心筋虚血	PCI
0.75~0.80	心筋虚血の場合とそうでない場合がある	病所によってまちまち
0.80以上	心筋虚血であることは稀	薬物療法



副院長

馬渕 博

さらには、昨今、脳動脈、冠動脈、末梢動脈疾患などの全身性の血管性疾患予防に対して、爆発的とも言える広がりを見せるOMT(optimal medical therapy=最適な内科的治療)を、開業医である先生方とともにしっかりと進めて行き、PCIが単なる閉塞や狭窄の改善ではなく、虚血や患者さんの予後を改善させるのが、我々、日本の心血管インターベンション治療に携わる医師の義務であると感じております。

来る新年が素晴らしいものであるように心よりお祈り致します。

# 重症狭心症へのステント治療と冠動脈バイパス術



心臓血管センター長  
武田 輝規

当院での重症狭心症へのステント治療成績の一部を、昨冬の湖東だよりにてお知らせしましたが、この1年間でさらにデータ解析を進めていき、加えて、冠動脈バイパス術を施行した患者様と比較したデータの検討も行うことができました。

対象症例は、冠動脈3枝全てに有意狭窄が存在する重症狭心症で、ステント治療か冠動脈バイパス術による治療かの判断は、医師の判断+患者様の御希望により“超”臨床的に選択された当院のリアルワールドのデータであります。

最長5年間の臨床フォローを行い、生存曲線を描いてみますと、全死亡や主要脳心血管イベント(全死亡・心筋梗塞・脳血管疾患・心不全入院)では両群にて有意な差は認められませんでした。平成22年度の本邦人口動態調査では70歳代の死亡率は男性で2.3%/年、女性で1.0%/年であり、この患者群であれば5年間で自然予後(生存率)は90%弱となることを考慮しますと、両群とも5年生存率が85%程度あることはまずまず許容できる範囲の結果であろうと考えられます。これは決してステント治療とバイパス治療が同等であるという

ことではなく、それぞれの患者背景、病変背景を考慮した当院での臨床判断が適切であり、予後に大きな差が生じていないということを示しております。

また、ステント治療群において、主要脳心血管イベントを増加させる独立規定因子としては、低左心機能・高度複雑病変の2つでした。逆に減少させる因子としては、2年以内の完全血行再建(3枝

全てにステント治療)でありました。ちなみに、完全血行再建することができない要因としましては、心筋梗塞での初発・高齢者・低腎機能の3つでありました。このことから、高齢者の重症狭心症で、複雑病変、心不全、慢性腎臓病を合併している場合にはこれまでよりもバイパス術を考慮していく必要性があり、重症狭心症へステント治療を行うのであれば可能な限り全病変を治療すべきと考えられました。

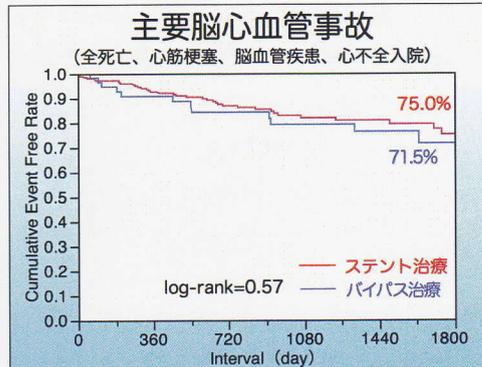
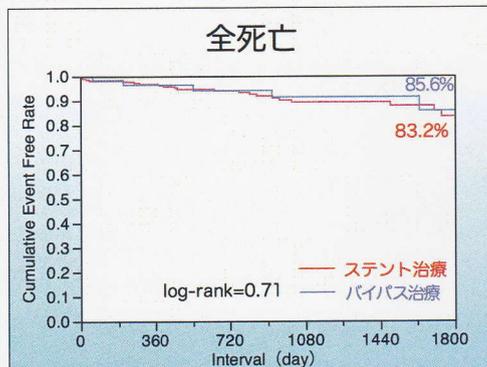
現在主に使用しております第二世代の薬剤溶出性ステントに関しては、有効性、安全性において従来のものよりもかなり優れた成績が得られており、複雑病変に関してもその恩恵は期待できるものと考えています。何とか我々は低侵襲なインターベンション治療によって少しでも多くの患者様へ最良の医療が提供できるように精進していきたいと考えております。

今後とも何卒変わらぬ御指導の程宜しく願いいたします。

患者背景	ステント群 n=250	バイパス群 n=68	p
平均観察期間(ヶ月)	27.6	31.9	n.s.
年齢(才)	71.3	70.0	n.s.
男性(%)	69.6	70.6	n.s.
肥満(BMI>26)(%)	21.4	23.5	n.s.
高血圧(%)	73.2	73.5	n.s.
脂質異常症(%)	65.2	60.3	n.s.
糖尿病(%)	47.6	61.8	0.04
高尿酸血症(%)	16.4	14.7	n.s.
喫煙(%)	36.8	27.9	n.s.
虚血性心疾患の家族歴(%)	15.2	14.7	n.s.
心筋梗塞の既往(%)	10.0	20.6	0.02
カテーテル治療の既往(%)	0	16.2	-
脳血管疾患の既往(%)	14.0	16.2	n.s.

患者背景と病変難易度			
	ステント群 n=250	バイパス群 n=68	p
低心機能(EF<40%)(%)	15.6	26.5	0.04
BNP値(pg/ml)	57.5	224.2	0.02
eGFR(ml/min/1.73m <sup>2</sup> )	64.2	57.0	0.02
ヘモグロビン値(mg/dl)	13.3	12.7	0.02
複雑病変指数(SYNTAX score)	28.7	37.6	<0.001
左冠動脈主幹部病変(%)	12.0	33.8	<0.001
慢性完全閉塞の数(個)	0.29	0.54	0.02

バイパス術を選択している症例は  
低心機能、低腎機能、複雑病変(左主幹部、慢性完全閉塞)  
を有している割合が有意に高い



# 湖東記念病院 形成外科外来 開設のご案内

謹啓

錦秋の候、先生におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび湖東記念病院では形成外科外来を開設致しました。診察されておられる患者様で、別紙疾患に対して治療を検討頂いている場合や、患者様自身も治療について一度聞いてみたいと考えておられる場合など、形成外科全般に関するご相談を承りたく存じます。

ご紹介よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

## <形成外科外来>

担当：小川 豊

日時：毎週月曜日 受付時間 午後 1 時～ 3 時

診察時間 午後 1 時半～ 3 時半

日時：毎週木曜日 受付時間 午前 7 時半～ 11 時半

診察時間 午前 9 時～ 12 時

※原則予約制ですが、直接お越し頂いても結構です。

※月曜日の受付は当面、午後 2 時からとなります。

ご迷惑をお掛けしますがご了承頂きますようお願い申し上げます。

※ご依頼は地域連携室までお願い致します。(TEL 0749-45-4512)

## <担当医師紹介>

小川 豊 (おがわ ゆたか)

関西医科大学 名誉教授 (形成外科)

日本形成外科専門医

日本熱傷学会専門医

日本頭蓋顎顔面外科専門医

皮膚腫瘍外科指導専門医

## [小川医師より]

顔面の黒子(ほくろ)や疣贅(いぼ)、エージングによる老人性疣贅、アテロームなど皮膚にみられる小さな病変は何でも取り扱います。

高齢者の皮膚たるみによる眼瞼下垂、日光による悪性化病変(日光角化症)、眼の周囲や鼻の付近に多い黒っぽい皮膚がん(基底細胞がん)など、怪しいと思われる病変をご紹介頂ければ幸甚です。

# 形成外科診療疾患

## 皮膚科

皮膚良性腫瘍

(アテローム 脂肪腫 脂漏性角化症

ビールス性疣贅 皮様嚢腫 皮膚線維腫

皮膚線維腫症 その他)

血管腫

(動脈性、静脈性血管奇形 血管芽細胞腫

被角血管腫 血管内皮細胞腫)

リンパ管腫

皮膚悪性腫瘍

(基底細胞癌 有棘細胞癌 悪性黒色腫

日光性角化症 ボーエン病

乳房パージェット病

乳房外パージェット病

その他皮膚付属器悪性腫瘍)

ケロイド 肥厚性癬痕 癬痕拘縮 ほくろ

色素性母斑 扁平母斑 青色母斑

褐青色母斑 (太田母斑) 熱傷 褥瘡

下腿潰瘍 手足外傷 指間水かき形成

腋臭症 多汗症 いろいろの顔面の奇形

癬痕性禿毛 睫毛植毛 陥入爪 巻き爪

## 眼科

眼瞼下垂 眼瞼皮膚弛緩症 兔眼 内反症

外反症

眼瞼腫瘍 (ほくろ 基底細胞癌

マイボーム腺癌 黄色腫 汗管腫)

眼瞼痙攣 眼窩腫瘍 義眼床再建

瞼の形状異常 重瞼線異常 眼瞼浮腫

小眼球症

## 耳鼻科

唇裂 口蓋裂 鼻の腫瘍 鼻の外傷

鼻の奇形 鼻腔狭窄 隆鼻術

耳の外傷 耳のケロイド ピアス形成

ピアス後のトラブル

外耳の奇形 (たち耳 スタール耳 耳垂裂)

顔面神経麻痺 顔面骨骨折

## 整形外科

多指症 合指症 水かき形成

四肢癱痕拘縮

## 小児科

先天性眼瞼下垂 唇裂 口蓋裂

いろいろの皮膚奇形 顔面奇形

## 外科

乳癌後乳房再建 腹壁ヘルニア 交通外傷

労働災害 下腿静脈瘤 陥没乳頭

いろいろの原因による皮膚欠損

## 泌尿器科

包茎 陰茎変形 尿道下裂 矮小陰茎

埋没陰茎

## 産婦人科

膣欠損 膣狭窄症 陰核肥大

## その他

皮膚 軟部組織の変形 色素異常など

外から見える部分の異常につき何でもご相談ください。

医療法人社団 昂会 湖東記念病院

形成外科 小川 豊

〒527-0134

滋賀県東近江市平松町2番地1

受付 月曜日 13時～15時

木曜日 7時半～11時半

## ■循環器科外来担当表

		月	火	水	木	金	土
循環器科	午前	坂口	馬淵	村上院長 (一般内科・循環器科)	前田	村上院長 (一般内科・循環器科)	非常勤
	午後	武田	只野	山路	前中	武田	
不整脈科	午前			静田 (2週)予約制			静田 (4週)予約制
	午後			静田 (2週)予約制			

〈午前診〉受付 7:30~11:30 診察 9:00~12:00

H24.11.1改訂

〈午後診〉受付 13:00~15:00 診察 13:30~15:30

※月2回 京都大学医学部附属病院 不整脈科 静田先生が来院されます。

※ペースメーカー外来 毎月第3金曜日 午後〈予約制〉

## ■循環器科外来について

平素は格別のご高配を賜り、又患者様をご紹介いただき厚く御礼申し上げます。

さて、当院の循環器科外来についてご紹介させていただきます。循環器科外来につきましては村上(院長)・非常勤医師を除きまして、原則予約制となりますが、先生方よりご連絡をいただいた際には、その医師が責任をもって診察させていただきます。

地域医療機関との連携と患者サービスの向上に努めて参りますので、今後ともよろしく御礼申し上げます。ご質問等がございましたら、お気軽に地域連携室までお問い合わせください。 地域連携室



## ■ご案内

### ○電車でお越しの方

JR能登川駅よりタクシーで20分、バスで25分

(市ヶ原〔角能線〕行き・湖東記念病院前下車)

近江鉄道八日市駅よりタクシーで20分、バスで25分

(僧坊〔湖東線〕行き・湖東記念病院前下車)

### ○車でお越しの方

名神高速道路 八日市インター より15分

駐車場：150台

料金：無料

※駐車場内での事故、盗難、破損等につきましては病院側では一切責任を負いませんのでご了承ください。

## 心臓血管センター 湖東記念病院

地域連携室 TEL. 0749-45-4512  
FAX. 0749-45-3335

ホームページアドレス  
URL <http://www.subarukai.jp/>

〒527-0134 滋賀県東近江市平松町2番地1  
TEL. 0749-45-5000 FAX. 0749-45-5001